

滑川町議会議員候補者選挙公報

滑川町選挙管理委員会

(1)

みなさんの願いと一緒に実現しました

- 町の非核平和都市宣言 ●関越道の防音壁工事 ●通学路に歩行・自転車の分離標識 ●加齢性難聴者の補聴器補助 ●谷津田米100%の給食 ●コロナ・物価高騰支援金給付 ●中学女子トイレに生理用品常備 ●入学準備金の入学前支給

これからがんばります

- ☆物価高騰緊急支援を国と町に求め、さらに賞金・年金の引き下げ、消費税減税、インボイスの中止など強く求めていきます
- ☆岸田内閣の大軍拡には強く反対します。町にも戦争記録や戦跡の保存など平和行政を求めます
- ☆里山やため池の自然を壊す太陽光パネル設置には反対です
- ☆給食は町調理でおいしく安全なもの子ども達に提供
- ☆農業を町の基幹産業に。「農福連携」やソーラーシェアリングで元気な農業をめざします
- ☆国民年金でも入れる高齢者施設を増設。介護利用負担軽減。町の外に出かけられるようデマンド交通の改善を求めます

あべ ひろあき
日本共産党

プロフィール
昭和34年11月12日生まれ、父・美、母・長文夫婦、7人家族
滑川小学校、滑川中学校卒業、埼玉県立川越工業高等学校卒業
東京デザイン学院卒業
現在職歴：滑川商工会副会長、滑川消防団OB副会長
その他経歴：滑川小学校PTA会長、消防団副団長（比企支部長）、青色申告会長（東松山税連会長）

3つの重点取り組み 本気で取り組むことを宣言します

- ①子育て支援
 - ・遠距離通学課題におけるスクールバス導入
 - ・働きながら子育て出来る環境整備
- ②高齢者支援
 - ・デマンド交通の拡大
 - ・コミュニティセンターの建て替え推進
 - ・社会参加の推進（高齢者スポーツ、就労など）
- ③災害支援
 - ・震災時の対応推進
 - ・道路の整備、通学路の安全対策
 - ・自主防災組織と消防団との連携強化
 - ・防災訓練地域参加型イベント検討

井上あきら

プロフィール
昭和34年11月12日生まれ、父・美、母・長文夫婦、7人家族
滑川小学校、滑川中学校卒業、埼玉県立川越工業高等学校卒業
東京デザイン学院卒業
現在職歴：滑川商工会副会長、滑川消防団OB副会長
その他経歴：滑川小学校PTA会長、消防団副団長（比企支部長）、青色申告会長（東松山税連会長）

生活者の視点で町政を!!

町民の皆様を支えられて平成30年から二期にわたり議員活動を経験させていただきました。この経験を活かし、初心を忘れず頑張りますので、引き続きご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

町民と町政のハイブリッドになります

- 町民の「想い」を町政に反映させます
- 町民の意見で住みよいまちづくりを推進します
- くらしの声を町政に届けます

安心・安全なまちづくり

- お年寄りが、穏やかに、安心して暮らせるまちを実現します
- 子供たちが、健やかに成長できる環境を整備します
- 防災力・防犯力の向上を推進します

内田としおのプロフィール

昭和29年 滑川村(現滑川町) 羽尾に生まれる
昭和48年 埼玉県立松山高校卒業
昭和52年 国立群馬大学工学部卒業
財団法人 日本染色検査協会へ入会(現：一般財団法人 ニッセンケン)
平成26年 一般財団法人 ニッセンケン 日本橋支所長を定年退職
平成30年 町議補選にて初当選以降二期にわたり議員活動の傍ら米作りに勤しむ

内田 としお

親と子が暮らしやすい町づくり

子育ての町として出生率も高く住民増加が続く滑川町ですが子育てをする世帯が全て恩恵を受けている訳ではありません。私も待機児童の親になった経験もあり職場復帰が出来ない事が生活に負担をかけた事もあります。待機児童の定義もおかしく共働きをしなければならない現状です。これが決まり事ではあっても、預けられる前提であらたに働ける方も居ます。小さい事かもしれませんが、このような事を少しでも改善する事でつと生活しやすい町になると考えています。約3年前から生活様式も変わり物価もかなり高騰しています。生活様式も以前のように戻り始めてはいますが、物価高騰や増税等はさらに加速し続けています。4年間議員としていろいろな経験からできる事、出来ない事、はありますが、一人の子育てをしている親として、責任ある議員の一人として、この町をもつと住みやすくより良い町に変えていく事を目指し活動して行きます。

しとう明

町民との絆

明るい滑川町の未来のために

地域の皆様の声に耳を傾け
明るく住み良い町づくりに
努力いたします

- ①子育て支援します
- ②高齢者健康も守る
- ③地域住民を守る

安心安全な住環境良好な構築に励む
住民相互の明るい挨拶から、立ち話(コミュニケーション) 防犯、防災ボランティア活動への支援、情報の共有を図る

松本 いくお

防災力の強い町作りのために!!行動します

- 今後、おこりうる災害に備え安心・安全な町作りの強化!【首都圏直下型地震等、予想されております】
- 町民の危機管理に対する、ニーズの協調性を図る! 防災教育の推進!
- 幹線道路の小中学校生通学路歩道整備と安全を確保!
- 町内の集会場に自動体外式除細動器(AED)の配備を促進! 24時間使用可能体制の促進!
- コミュニティセンター建設の推進!

住んでよかった 生まれてよかったまちへ 住まいるタウン滑川の実現に向けて

誰もが生涯安心して暮らせるまちづくり (福祉)
豊かな心と文化を育むまちづくり (教育文化)
暮らしやすい快適なまちづくり (都市基盤・生活環境)
特性を生かした活力ある産業のまちづくり (産業経済)
町民との協議による自立可能なまちづくり (行財政・コミュニティ)

おざわ実 (64歳)

プロフィール
1959年(昭和34年)3月 滑川町羽尾に生まれる(現在64歳)
宮前小学校、滑川中学校、県立玉川工業高校卒業
昭和52年4月 坂戸・鶴ヶ島消防組合入署
平成31年3月 消防本部指令課長を定年退職(42年在職)
令和4年9月 滑川町議会議員補欠選挙で当選、総務経済建設常任委員、議会運営委員
令和3年・4年度 滑川町第10区 羽尾一区 区長
社会福祉法人 滑川珠美園評議員在任中、社会福祉法人 にし評議員在任中
※現在：滑川町羽尾地内で農業に従事。低炭素、有機肥料でコシヒカリ米作り。柿(幹屋・大秋)を父(利男)の後継者として栽培し、武州ころも柿を生産。ブドウ、プラム、ブルーベリーも栽培に勤しむ。
※資格：防火管理者、防災士、小型船舶操縦士、特殊無線技士、第四級アマチュア無線技士
※趣味：釣り、ソフトボール、ゴルフ
※家族：両親、妻、長男の5人、愛猫2匹、愛犬1匹

4月23日(日)は投票日です

投票時間 午前7時から午後8時まで

みんなそろって投票しましょう

滑川町議会議員候補者選挙公報

滑川町選挙管理委員会 (2)



せがみ 邦久

皆様とつくる街づくり

一 消防吏員の経験を活かし
安心・安全な街づくり

二 農業、経済の活性化による
活力あふれる街に

三 子供達の将来を考え
夢と誇りをもてる街に

地域の声を
「せがみ 邦久」が
町政に届けます！

町を走り、未来につなぐ！

教育現場一筋40年超！
目の前の一人に尽くしてきました。
西宮としあきは、お約束します。

公明党 新人 67歳
プロフィール
昭和30年10月13日富山県生まれ
都立石神井高校、創価大学文学部
英文学科卒。埼玉県立高校英語
教諭、教頭、校長を経て、定年退職。
県高等学校文化連盟事務局長(令和
5年3月退職)
〈趣味〉読書、クラシックギター、太極拳
〈家族〉妻、長男
〈座右の銘〉「生涯求道」「生涯挑戦」
〈モットー〉「子どもは地域の宝」
〈住所〉滑川町月の輪



にし
みや
西宮
としあき

人に優しい町政を。

若い世代の方々が働きながら
安心して暮らせる滑川町

子育てや学習支援を地域で支える仕組みづくりに挑戦！

高齢者の方々が安心して
楽しく暮らせる滑川町

介護予防や交通弱者対策の体制づくりに挑戦！

自然に恵まれた美しい滑川町

豊かな自然環境を未来へつなげ、発信することに挑戦！



西宮としあきを推薦します。
公明党代表 山口那津男 参議院議員 西田まこと

新しい町づくりを拓く 皆さんのために経験と行動力！



あざわ
まさそり

1 社会的弱者をつくらない町づくり

- ◆子育て支援
 - ・遠距離通学の解消、給食の改善
 - ・給食費の無償化、医療費の18歳までの無料化、第3子以降の子育て給付金、保育園の整備、待機児童の解消、放課後児童の対策、ひとり親の支援、障害児の支援
- ◆高齢者支援
 - ・デマンド交通の充実、コミュニティ(ふれあい)センターの充実
 - ・地域包括支援の構築、介護予防サービスの充実、高齢者の福利厚生の補助
- ◆障害者支援
 - ・障害のある人が必要な障害福祉サービスや相談支援への支援
 - ・個々のニーズに基づいた地域生活支援体系の整備
 - ・就業、生活支援相談の充実
- ◆女性支援
 - ・女性に対するあらゆる暴力の根絶や困難を抱える女性への支援
 - ・多様な困難に直面する女性に対しては、女性に特化した、あるいは女性に重点を置いた様々な施策が講じられ、様々な相談ができる窓口の設置

3 議会を変える(議員報酬の減額)

民間企業に勤める能力や各種のノウハウを持った人が、その能力を滑川町の将来の町づくりのために発揮できる議会にする。そのため議会は、休日開会とし、議会で活躍していただくために、新しい町づくりに意欲ある議員が多数いれば、議員定数は少し増やしてもいいと考えます。しかし、絶対に議会経費の増額は許されません。そのため定数の議員報酬は減額し、議会経費の削減を実現します。

4 行財政改革

- ◆条例(町の法律)立案能力の向上
 - ・住民目線の政策を実現するため、議員の本業の使命である議員立案による条例の制定・改正によって、新しい町づくりを実現します。
- ◆職員の改革意識の向上
 - ・行政マンは、自分自身が携わっている事務事業については、ある程度改革を推進していますが、担当以外の事務事業は改革することが出来ないのが役所の実情です。議会議員として議会を通して、職員の改革意識の向上を図ります。
- ◆財政の健全化
 - ・財政の基本は、皆さんの家の家計と何ら変わりません。予算を執行する職員が自分の家ならどうするか(節約、投資等)を考えて、使ったり、貯めたり、借金したりすることです。それが、しっかりとできればおのずと健全な財政になります。

「次の時代の一步を踏み出します」

2 公平公正な町づくり

- ◆所得の違いにより損得が生まれない取組み
 - ・国民健康保険税、介護保険料、保育料その他の各種負担金の適正な算定
- ◆知らない人が損をしない取組み
 - ・国民健康保険税、町民税、固定資産税の課税や公共下水道、農業集落排水、公設浄化槽の使用料の適正な算定と税の免除や減額の周知や教育

赤沼まさのり事務所 〒355-0811 滑川町羽尾1445 ☎080-1395-6590

熱意と行動力

滑川町が抱える問題を解決し、全世代の人びとが輝く町へ



きたがわ
かずひろ
北堀かずひろ

教育の充実、少子化対策、子育て支援

- 子育て世代を中心とした、プロジェクトチームの結成
- 遠距離通学の解消
- 区域外通学の解消
- 給食費の無償化の継続
- 保育体制の充実、経済的支援の強化
- シニア保育のサポーター制度

健康増進政策の充実

- 全町の健康寿命延伸運動の展開
- 介護する人、される人、支援する人の環境改善

定住促進と、地域の活性化

- デマンド交通の充実
- 団塊世代の、地域雇用の促進
- 在宅チームマネージメント、地域包括ケアの充実
- 空家の有効活用、シニア農業者サポーター制度
- 防災体制の強化で安心安全な町づくり
- 向こう三軒、両隣り意識強化
- 児童生徒による防災意識啓発活動
- 災害に対する行政と住民との共通認識の構築

若い世代で町に活性化を!

- 町を知るから生まれる活力
- 全町民の町体験事業 (町民が町を知り親しみファンになる)
- 同窓会、同世代会推奨事業
- 町内ローカルニュースペーパーの発行(民間人研修生)
- 町民との対話の促進
- ストーリー性を持った整備と事業展開
- 滑川町への移住者(農業の可能性)

いま、見直されてきた新しい農業

- 農業の6次産業の支援体制
- 他県人に学ぶ就農者育成支援

県道173号線通称とぎ熊線 大木橋

- 下流側に歩道の設置(通学路)

子育て世代・女性の声を町行政・議会・町長へ



うえの
はづき

- 1 宮前小学校の長距離通学の負担を減らしたい
- 2 こみ処理は、循環型・持続可能なやり方へ
- 3 燃やす方式↓発酵方式へ。家庭から出す分別も変更すべき
- 4 給食内容の改善・自校調理方式の実現を
- 5 東松山市に依存する仕組みを改め、町での食材提供と献立作成へ
- 6 小学校3校のプール授業は長期的に考えられた計画で実施すべき
- 7 宮前小の水泳授業民間委託。継続がプール建設かを検討
- 8 南部小学校建設・農村公園(サッカー場整備計画など、用地取得のみで留まる事業があり町行政の長期計画を問いたい
- 9 新型コロナウイルス対策、マスク着用終了し、過剰対策を終わりに
- 10 副作用死が多発するコロナワクチンは中止すべき
- 11 子どものマスク着用は、言語学習・顔認識・顔認識の面から影響

平成30年9月の初議会より全18議会一般質問しました
予算・決算・その他の審議での発言数は議員最多クラスです

活力がありいつまでも住み続けられるまち

全ての人が生きて安心して暮らせるまち
郷土を愛し自ら学び文化を育むまち

笑顔があふれ活気に満ちた滑川町の実現を!
住んで良かった、生まれて良かった、
そしていつまでも住み続けたいまちを目指します。

原さんとはこんな人

地元密着なのに
広域に人脉豊富な情報通
元気に率先垂範タイプ

誰にも負けず有言実行
座右の銘は「一期一会」
モットーは「参加することに
意義がある」

家族構成 妻・息子2人の
4人家族
趣味 テニス ソフトボール
ゴルフ 野菜づくり

原とおるの経歴

- 1960年滑川町月輪生まれ(現62歳)
- 学歴 宮前小、滑川中、川越高を経て都立法学部卒業
- 職歴 東松山市役所で地域生活部 政策財政部 監査委員事務局長などを経て教育委員会 子ども未来部長、都市整備部長を歴任
- 主な地域活動歴 埼玉県青少年相談員、宮前小・月の輪小PTA会長 月の輪小学校応援団長・学校評議員、滑川中学校 運営協議会委員、滑川町月輪土地区画整理組合 まちづくり委員・総代、滑川町ソフトボール協会 副理事長、大塚のぶいち後援会会長



はら
とる
原とおる

4月23日(日)は投票日です

投票時間 午前7時から午後8時まで

みんなそろって投票しましょう

滑川町議会議員候補者選挙公報

滑川町選挙管理委員会

(3)

住んでよかった 生まれてよかった
「住まいるタウン滑川」の実現に向けて!



こうさか
清二

- ☆ 子供たちの通学路の安全対策を確保をし整備します
- ☆ 誰もが安心して生涯暮らせる街づくりを推進します
- ☆ 暮らしやすい快適な街づくりを目指し努めます
- ☆ 子供たちが将来夢と誇りを持つ街づくりを図ります
- ☆ 長年の経験を更に強化し安全・安心な街づくりの実現に努力し続けます

「皆さまとつくる街づくり」それは
身近な地域の皆さまの声を生かした活力ある
行動にあると思います。そのため
は、懸命に働きます。



皆様の声に耳を傾け、滑川町を
より暮らしやすい町にしていきます



中西
ふみとし

健全な行財政運用の町づくり

- 財源の確保
企業誘致、補助金制度の活用

- 事業の進捗状況のチェック強化
選定基準、進め方、費用の妥当性
情報開示の推進

子どもに優しい町づくり

- 子育て支援の拡充
子ども食堂、遊び場作り
- 保育士・教員へのサポート
成長に応じた環境の提供
補助職員の増員

住みやすい町づくり

- ITインフラの整備
5Gの利用拡大
- 社会インフラの整備
小中学校の増設推進
東武東上線の利便性向上

高齢者に優しい町づくり

- 行政サービスの向上
生きがい作り、健康寿命の延長
- セカンドキャリアへの支援
知識と経験を生かした地域との連携

地産地消できる町づくり

- 農業支援
滑川ブランド作り 販路拡大
有機栽培の推進
- 後継者育成
食育を通じ、農業への理解促進

プロフィール 1962年生まれ 妻・二男の4人家族 1985年 IT企業入社 勤続38年
地域活動 住民主体の合併を求める会 代表 同上自治会 会計・副会長 通算6年
趣味 ソフトボール(みなみ所属) ランニング(滑川陸協所属)

住み続けたいと思える

まちづくりに全力!



無所属
吉野

まさひろ

「行政42年間の経験」を活かし、町民
の代弁者として全力で取り組みます!

- 町民の健康増進・福祉の充実
- 教育・子育て支援の充実
- 安心・安全なまちづくりの推進
- 町経済の活性化対策
- 行財政改革の推進



<http://namegawa-yoshi.sakura.ne.jp/>

安心安全を確保するため
身近な問題から
確実に取り組みます!!

私には行政経験はありませんが
民間企業で培った経験と自営業での体験を活かし
安心して住める町づくりを進めたいと思います



やじま
みのる 稔

やじま稔 プロフィール

- * 1957(昭和32)年5月10日 川越市生れ
- * 川越市小中学校、錦城高(小平市)を経て
大東文化大学外国語学部中国語学科卒業
- * 1981年 アイメガネ入社
1991年 メガネシアター設立(東松山)
1996年 滑川町みなみ野に転入
- * 家族: 1男1女 現在は妻と二人暮らし
- * 地域ボランティア: 自治会役員5年・
防犯活動・十三塚公園清掃

安心して
住める
町づくり



4月23日(日)は投票日です

投票時間 午前7時から午後8時まで

みんなそろって投票しましょう

令和 5 年 4 月 23 日 執行
滑川町議会議員一般選挙

滑川町議会議員候補者選挙公報

滑川町選挙管理委員会 (4)

滑川町選挙管理委員会では、投票・開票状況等選挙に関するお知らせを町ホームページ内の「滑川町議会議員一般選挙」に掲載しています。



町ホームページ

滑川町選挙管理委員会

4月23日(日)は投票日です

投票時間 午前7時から午後8時まで

みんなそろって投票しましょう